

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 大

上場会社名 アルファグループ株式会社

コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上 岳史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 西原 哲司

TEL 03-5469-7300

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,293	2.2	88	△29.7	89	△30.5	55	△56.9
23年3月期第1四半期	5,177	△0.9	126	△2.6	128	△1.4	128	49.9

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 55百万円 (△55.8%) 23年3月期第1四半期 125百万円 (53.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1,872.35	1,871.90
23年3月期第1四半期	4,348.47	4,346.56

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	4,606	2,517	54.6	85,194.11
23年3月期	4,842	2,505	51.7	84,801.34

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 2,517百万円 23年3月期 2,505百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,422	△7.7	70	△68.0	69	△69.0	36	△78.4	1,222.63
通期	20,756	△0.5	319	△20.0	317	△28.5	175	△43.6	5,932.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	30,972 株	23年3月期	30,972 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,425 株	23年3月期	1,425 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	29,547 株	23年3月期1Q	29,546 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①全般的概況

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）における我が国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け、製造業を始めとして、インフラの寸断や部品生産拠点の被災、その後の計画停電等により生産活動の停滞を余儀なくされた厳しいスタートとなりました。さらに、原発問題が長期化する中で電力供給にも大きな制約が出ており、その影響についても注意する必要があります。また、雇用情勢は震災前に比べ一段と悪化しており、個人消費については震災直後の急激な自粛ムードは和らいだものの原発事故の風評被害が拡がり買い控えの傾向が見られる等、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような経済情勢の中、当社グループは、モバイル事業、オフィスサプライ事業、IT事業、その他事業の各事業において、既存事業の販路拡大に努めてまいりました。また、成長を支える新たな収益基盤を構築するために、当社保有のコールセンターを活用したウォーターサーバー商材の取り扱いを進めると共に、IT事業で培った技術を生かし、今後成長が見込まれるドクターズコスメ市場への進出に向け、新商材の開発に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高52億93百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益88百万円（前年同四半期比29.7%減）、経常利益89百万円（前年同四半期比30.5%減）となり、四半期純利益55百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

#### ②セグメント情報

##### <モバイル事業>

社団法人電気通信事業者協会推計による当第1四半期連結累計期間における携帯電話加入契約数は、平成23年6月末で1億2,124万件と、平成23年3月末より約171万件増加しました。キャリア別純増数では、平成23年3月末よりNTTドコモ約40万件（純増シェア23.7%）、au約35万件（純増シェア20.6%）、ソフトバンク約73万件（純増シェア42.7%）、イー・モバイル約22万件（純増シェア13.0%）となりました。

そのような中、販売台数の増加を主目的として、引き続き高いシェアを占める関東圏に注力し、積極的に新規出店に努めると共に、将来の安定収益の確保および売れ筋端末の確保のため、販売店支援、従業員の育成に注力してまいりました。

また、当社系列の携帯電話販売店舗のブランドを一つに結集し、スケール感をもってブランドの拡大を図るため、新たな店舗ブランド「モバワン」を誕生させ、看板の統一化を図る共に、「すべての店舗において、最高のサービスを、同じ品質で提供できること」を目指し、より強固な販売網の構築に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37億31百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益59百万円（前年同四半期比26.6%減）となりました。

##### <オフィスサプライ事業>

依然として企業のコスト節減意識は高く、オフィス文具用品の買い控え等の影響を受け、厳しい状況が続いている中、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け、東日本エリア（北海道・東北・関東）の「獲得件数」および「稼働顧客数」の減少を予測しておりましたが、震災を通じて、必要な商品を適時に購入・調達することが可能なインターネットショッピングの強みが再確認されましたことから、予想に反して需要の落ち込みは僅少に留まりました。

また、前年に引続き当社保有のコールセンターの活用により、「カウネット」の新規顧客の獲得と既存顧客への継続利用の促進に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億24百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益41百万円（前年同四半期比19.5%減）となりました。

##### <IT事業>

IT事業におきましては、企業の業績悪化を背景とした先行き不安からくる広告費の削減等により市場の成長は鈍化したため、SEOの需要は高まりましたが、競合他社の進出を受け新規顧客獲得の競争が激化し、SEO事業における企業が淘汰され始めたことから、当社は既存顧客へのサービスの集中および業務の最適化を押し進め固定費を削減し、安定的な収益を確保する体制に移行しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15百万円（前年同四半期比43.8%減）、営業利益5百万円（前年同四半期比28.3%増）となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、オフィスサプライ事業の当社保有のコールセンターを活用し、これまでカウネット顧客獲得で培ったアウトバウンドコールのノウハウを生かしたウォーターサーバーの販売代理事業の拡大に努めております。さらに、IT事業で培った技術を生かし、ドクターズコスメ市場への進出を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は23百万円（前年同四半期比46.7%減）、営業損失17百万円（前年同四半期は営業利益2百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は46億6百万円で、前連結会計年度末に比べ2億35百万円の減少となりました。主な減少は受取手形及び売掛金の減少2億76百万円等であります。

負債は20億88百万円で、前連結会計年度末に比べ2億47百万円の減少となりました。主な減少は、未払法人税等の減少1億14百万円等であります。

純資産は25億17百万円で、前連結会計年度末に比べ、11百万円の増加となりました。主な増加は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加55百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当初予定していた範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	904,159	821,428
受取手形及び売掛金	1,114,298	837,837
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	712,144	942,791
その他	521,903	455,384
貸倒引当金	△4,980	△4,068
流動資産合計	3,347,525	3,153,373
固定資産		
有形固定資産	108,358	101,693
無形固定資産		
のれん	415,286	373,743
その他	3,498	3,181
無形固定資産合計	418,785	376,925
投資その他の資産		
差入保証金	641,871	649,348
その他	365,421	364,703
貸倒引当金	△39,694	△39,743
投資その他の資産合計	967,597	974,307
固定資産合計	1,494,741	1,452,926
資産合計	4,842,267	4,606,300
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,133,546	1,133,257
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	62,000	36,800
未払法人税等	156,753	42,237
その他	362,293	266,540
流動負債合計	2,214,593	1,978,835
固定負債		
長期借入金	46,000	40,000
その他	76,047	69,917
固定負債合計	122,047	109,917
負債合計	2,336,641	2,088,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,753	527,753
資本剰余金	487,355	487,355
利益剰余金	1,742,558	1,753,560
自己株式	△250,763	△250,763
株主資本合計	2,506,903	2,517,905
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△1,278	△674
その他の包括利益累計額合計	△1,278	△674
少数株主持分	—	315
純資産合計	2,505,625	2,517,546
負債純資産合計	4,842,267	4,606,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	5,177,975	5,293,290
売上原価	4,495,239	4,697,401
売上総利益	682,736	595,888
販売費及び一般管理費	556,180	506,893
営業利益	126,555	88,995
営業外収益		
受取利息	974	1,213
受取手数料	399	982
助成金収入	2,028	—
債務勘定整理益	1,245	—
還付加算金	254	—
その他	786	228
営業外収益合計	5,688	2,425
営業外費用		
支払利息	3,394	1,882
その他	36	18
営業外費用合計	3,430	1,901
経常利益	128,814	89,519
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,583	—
事業譲渡益	88,000	22,278
受取和解金	24,000	—
特別利益合計	114,583	22,278
特別損失		
減損損失	—	3,947
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,519	—
特別損失合計	8,519	3,947
税金等調整前四半期純利益	234,879	107,849
法人税、住民税及び事業税	97,987	42,416
法人税等調整額	11,832	10,794
法人税等合計	109,820	53,211
少数株主損益調整前四半期純利益	125,058	54,638
少数株主損失(△)	△3,421	△684
四半期純利益	128,479	55,322



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	125,058	54,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	603
その他の包括利益合計	—	603
四半期包括利益	125,058	55,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,479	55,925
少数株主に係る四半期包括利益	△3,421	△684

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	人材事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
外部顧客への 売上高	3,348,664	1,566,597	27,231	192,202	43,278	5,177,975	—	5,177,975
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	144	723	—	—	—	867	(867)	—
計	3,348,808	1,567,321	27,231	192,202	43,278	5,178,843	(867)	5,177,975
セグメント利益 又は損失(△)	80,712	51,437	4,404	△12,911	2,912	126,555	—	126,555

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	モバイル 事業 (千円)	オフィス サプライ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,731,305	1,523,606	15,316	23,062	5,293,290	—	5,293,290
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	144	777	—	—	921	(921)	—
計	3,731,449	1,524,383	15,316	23,062	5,294,211	(921)	5,293,290
セグメント利益 又は損失(△)	59,256	41,396	5,650	△17,307	88,995	—	88,995

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「I T事業」、「人材事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、「モバイル事業」、「オフィスサプライ事業」、「I T事業」、「その他事業」の4つに変更しております。この変更は、人材事業を営むアルファテクノロジー(株)の株式を売却し、前連結会計期間より同社が連結の範囲から除外されたことによる変更であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。